

# 水土里ネット氷見

第1号  
発行所  
氷見市土地改良区  
〒935-0024  
氷見市窪938  
☎0766-91-0083

## 五位ダムで地すべり

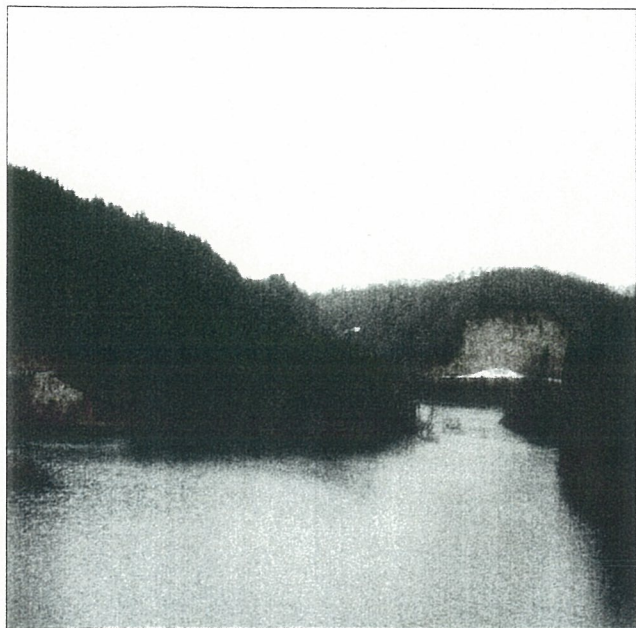
### 今後の対応が示される

動観測の

五位ダムを管理する県職員が、今年の四月十三日の調査時にダム上流側でかなり大きな地すべりの発生を確認しました。原因は、今冬の大雪による融雪と推測されます。

地すべりの

規模は、幅約百六十メートル、斜面長約百三十メートル、すべり面の深さ約二十三メートルとなっています。発生の一報を受けて、国、県の関係機関が現地に入り、現場踏査と今後の対応が検討されました。その結果、ダムへの流出土砂の量が約三万立方メートルと推測されました。GPSによる移



左側が大きく崩れてダム面にせり出した崩落土

結果、現在も微小ではありますが、地すべりが進んでおります。地すべりの移動量は、ダム水位低下量との相関が考えられるため、今後移動が急増する場合は、ダムの水位保持の対策が検討されます。水位保持の対策が採

られます。農家の皆様方には、これまで同様、節水にご協力いただきますよう周知方よろしくお願いたします。尚、復旧工事は、諸手続きを経て九月中旬に緊急地すべり対策事業として着手し、本格的な復旧工事は、平成十九年度から実施されます。

## 石井県知事に「ため池」について要望

事業「の成果を見極めたいとのコメ

六月三十日富山県土地改良会館会議室で「知事と水土里ネット（土地改良区）関係者との懇談会」が開催されました。懇談会には、県から石井知事をはじめ農林水産部の幹部職員、主催者側から県土連の河合会長ほか役員と県内の主な土地改良区の理事長が出席されました。はじめに、河合会長が近年の土地改良区を取り巻く状況と懇談会の開催に感謝の言葉を述べ、懇談会に入りました。当日は、布子理事長を含めて五人の代表が意見を述べました。布子理事長は、「ため池」の現状と課題そして管理運営について県知事に具申しました。この中で理事長は、大きな「ため池」の安全性の確保のため、調査等のソフト事業を県単事業として取り組んで欲しい旨を知事に要望しました。知事からは、今行われている「触坂地区ため池群広域防災機能増進モデル



懇談会で知事に意見を述べる布子理事長

## 十二町潟排水機場2号機の整備が完了しました。

昨年の十一月から進めてきました十二町潟排水場の2号機の改修工事が完了し、六月九日に引渡し検査が実施されました。入梅前に2号機の稼動が可能となり、ホットしました。

## 国営農地造成畑坪池地区で雌牛の放牧

国営で造成された坪池地区の農地畑の利活用について、これまで検討してきましたが、この度氷見の協力の下、繁殖雌牛を放牧することになり、七月四日に現地で放牧式が執り行われました。残された遊休農地の利活用についても関係機関と協力して、その解消に努めます。

## 「水土里ウォークIN桜ヶ池」が開催されました。

二十一世紀土地改良区創造運動の一環として開催されている水土里ウォークが今年も、高岡市の他六月三日には、南砺市の桜ヶ池でも開催され、当地改良区からも参加しました。約三百人の参加があり、桜ヶ池周囲のコースで爽やかなウォーキングを楽しみました。氷見市でも開催されることになっており、その時はご協力いただきますようよろしくお願いいたします。